

2017年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	正孔輸送材料、電子輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2016年度	2017年度	前年同期比
売 上 高	23,675	28,154	+ 4,478
営 業 利 益	897	2,992	+ 2,094
経 常 利 益	961	3,582	+ 2,620
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,020	2,405	+ 1,385

為替レート

\$=107.57円
W=0.0935円

\$=111.78円
W=0.1000円

\$=ドル
W=韓国ウォン

- ・ **売上高**は、有機EL材料や、色素材料の需要増加を主因とした機能性色素セグメントの伸長等により、**4,478百万円の増収**
- ・ **営業利益**は、売上高の増加等により、**2,094百万円の増益**
- ・ **経常利益**は、 営業利益が増加したほか、**為替差益の増加等により、2,620百万円の増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、**非支配株主に帰属する四半期純利益の増加(減益要因)等があったものの、経常利益の増加により、1,385百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2017年 3月末	2017年 12月末	増減
(流動資産)	249	273	+23
現預金	71	99	+27
売上債権	122	101	▲21
棚卸資産	46	60	+14
その他	9	12	+3
(固定資産)	284	301	+16
有形・無形 固定資産	203	202	▲1
投資有価証券	74	90	+16
その他	6	8	+1
合計	534	575	+40

科目	2017年 3月末	2017年 12月末	増減
(負債)	195	200	+5
仕入債務	46	54	+8
有利子負債	91	78	▲12
その他	58	67	+9
(純資産)	338	374	+35
資本金	111	111	-
資本剰余金	95	95	▲0
利益剰余金	60	79	+19
その他	70	86	+16
合計	534	575	+40

財務指標

・自己資本比率	59.5%	⇒	60.1%
・D/Eレシオ	0.29倍	⇒	0.23倍

有利子負債 91億円 ⇒ 78億円

現預金 71億円 ⇒ 99億円

(実質無借金状態)

第3四半期累計

単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

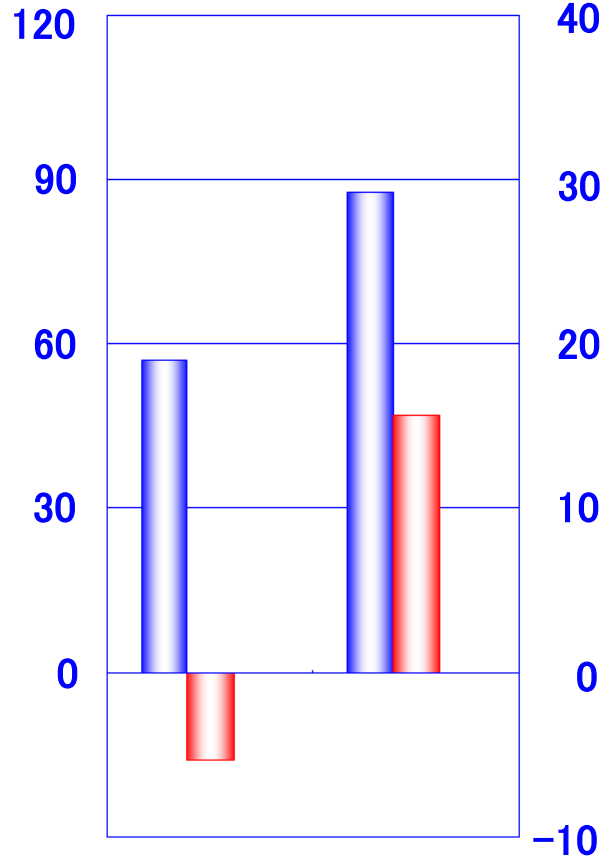
セグメント	2016年度	2017年度	前年同期比
機 能 性 色 素	5,699	8,770	+ 3,070
機 能 性 樹 脂	8,664	9,099	+ 435
基 礎 化 学 品	5,141	5,383	+ 242
アグロサイエンス	2,225	2,538	+ 312
物 流 関 連	1,772	2,236	+ 464
そ の 他	172	125	▲ 46
合 計	23,675	28,154	+ 4,478

第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

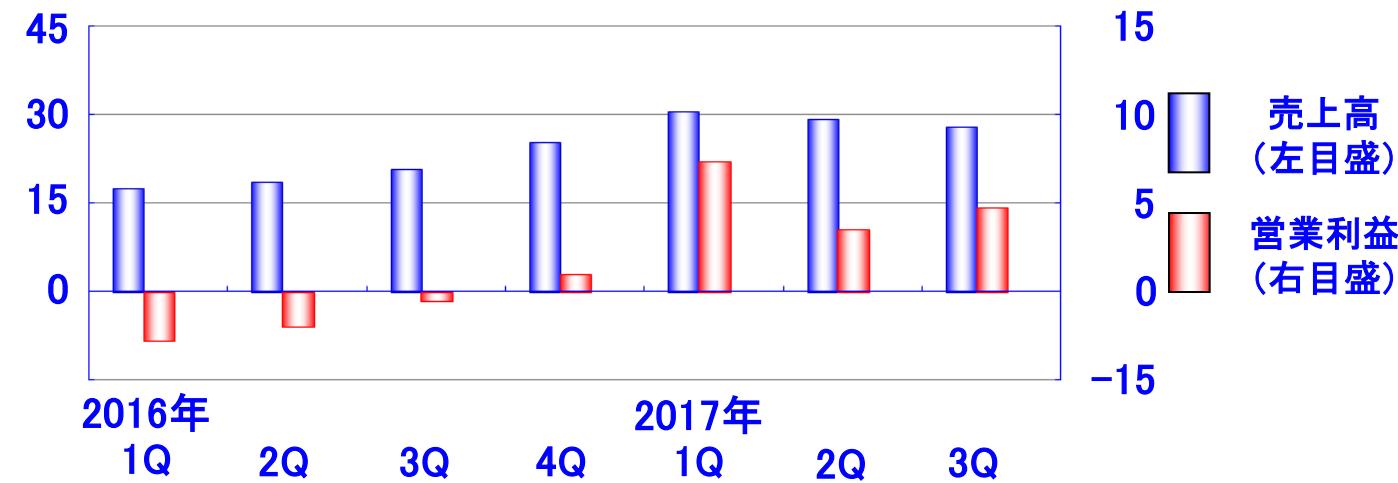
セグメント	2016年度	2017年度	前年同期比
機能性色素	▲ 526	1,567	+ 2,093
機能性樹脂	514	517	+ 3
基礎化学品	688	647	▲ 40
アグロサイエンス	▲ 273	▲ 224	+ 48
物流関連	510	493	▲ 17
その他	▲ 16	▲ 10	+ 5
合計	897	2,992	+ 2,094

売上高 (億円) 営業利益 (億円)

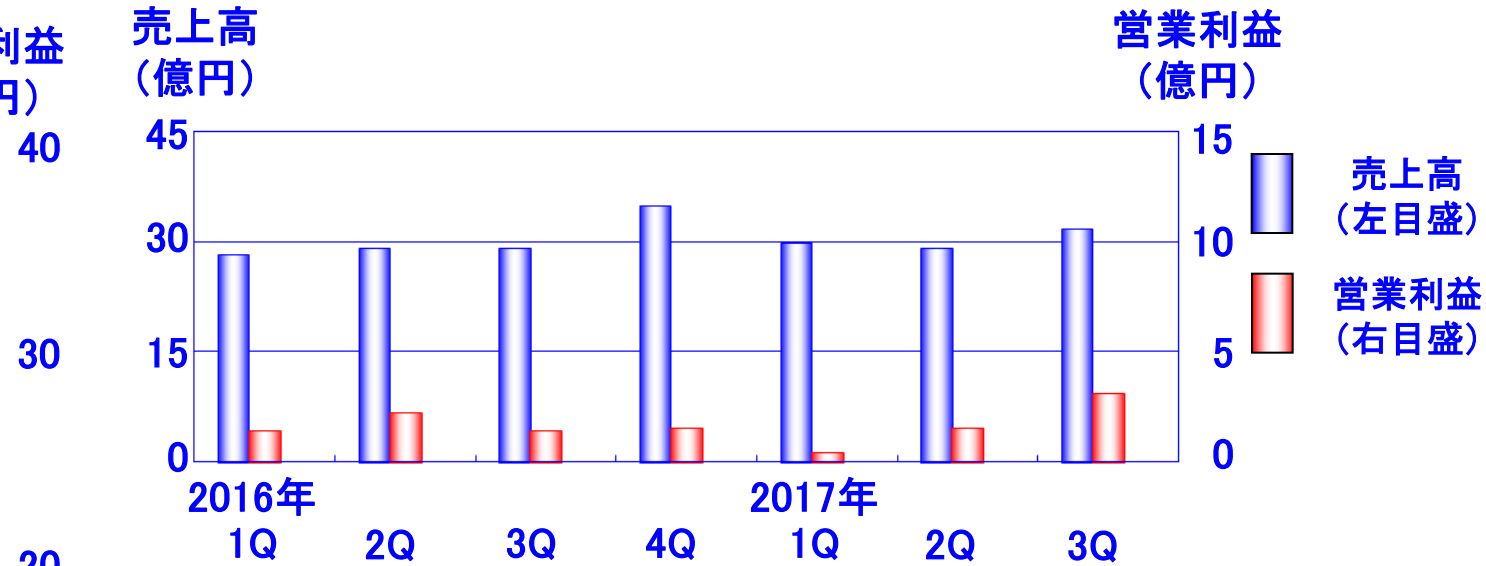
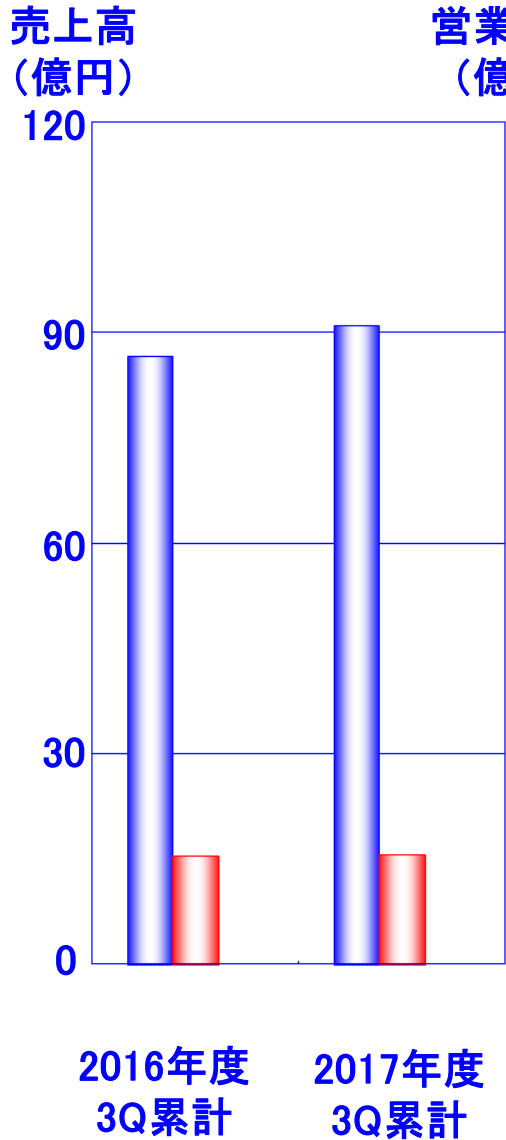


2016年度 3Q累計 2017年度 3Q累計

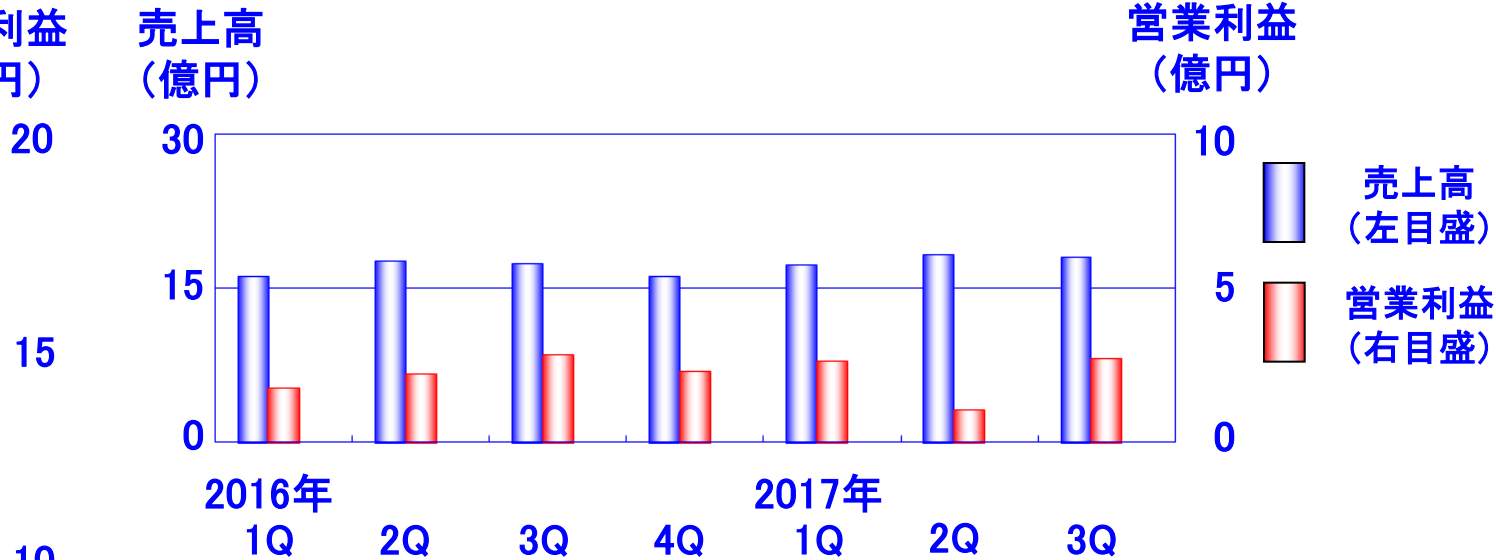
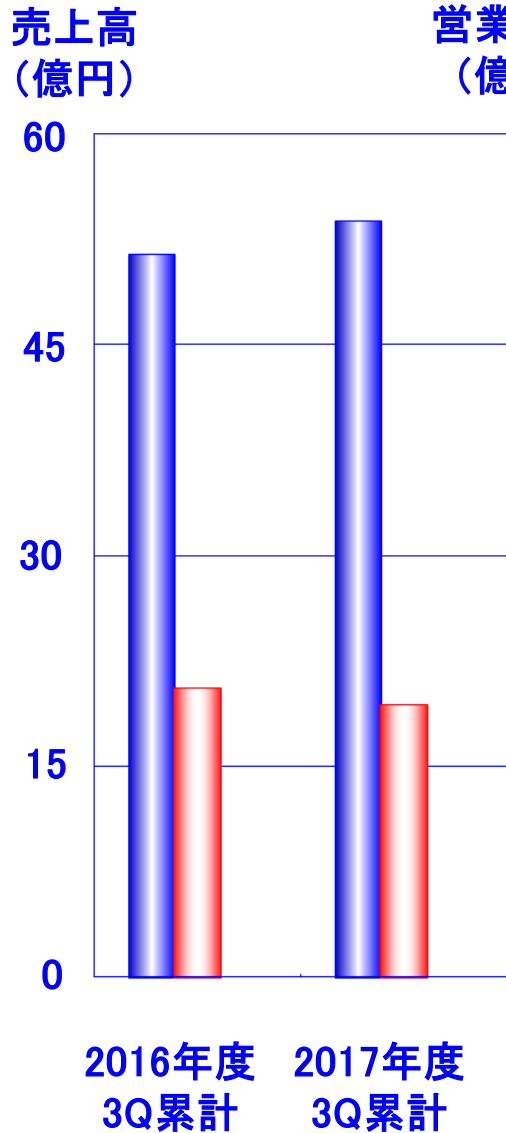
売上高 (億円) 営業利益 (億円)



イメージング材料	・プリンター向けで厳しい状況が継続しており、減収	↓
有機EL材料	・ディスプレイ分野での需要の拡大により、増収	↑
色素材料	・デジタル家電向けアルミ着色用染料が、引き続き好調に推移し、増収	↑



樹脂材料	・タイヤ用途向けが堅調に推移したことや、ウレタン原料での需要が国内外で堅調に推移したことにより、増収	▲
建築材料	・防水材料での競争激化により、減収	▼
特殊化学品	・樹脂関連向け等で需要が増加し、増収	▲



過酸化水素	・環境分野や動物薬品向け等での需要が増加し、増収	
誘導品(※)	・家庭用洗剤向けが減少し、減収	

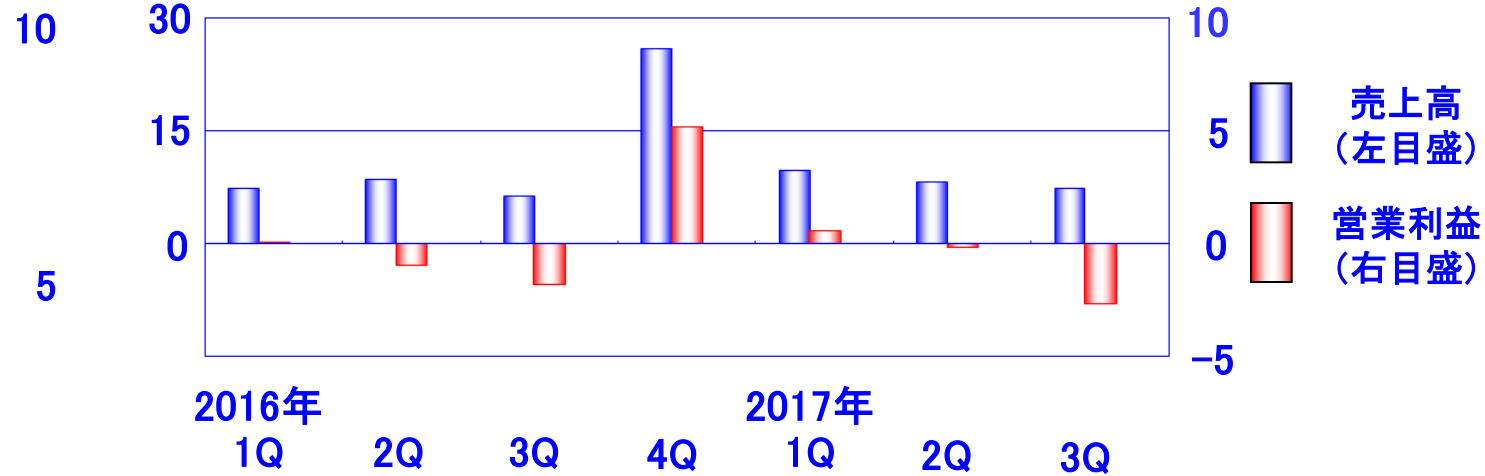
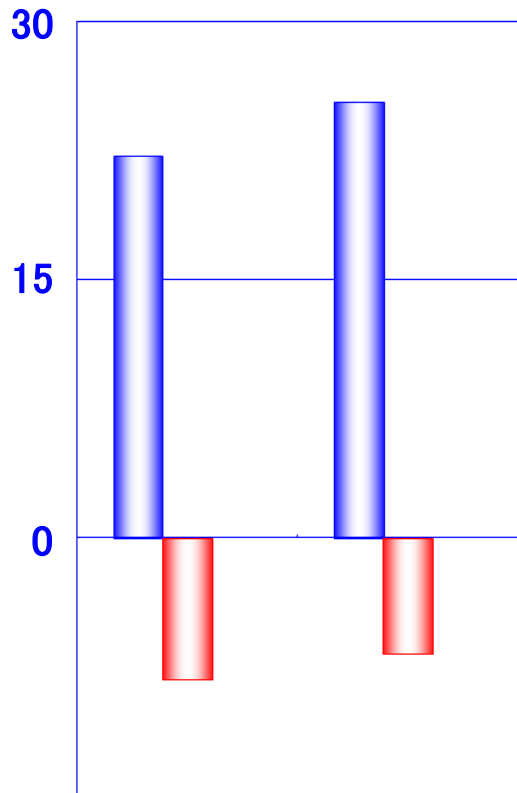
※過炭酸ナトリウム、過酢酸

売上高
(億円)

営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



売上高
(左目盛)

営業利益
(右目盛)

2016年度 3Q累計 2017年度 3Q累計

アグロサイエンス

・除草剤は、家庭園芸および鉄道向けで
需要が増加したことに加え、
農耕地向けも需要が増加し、増収

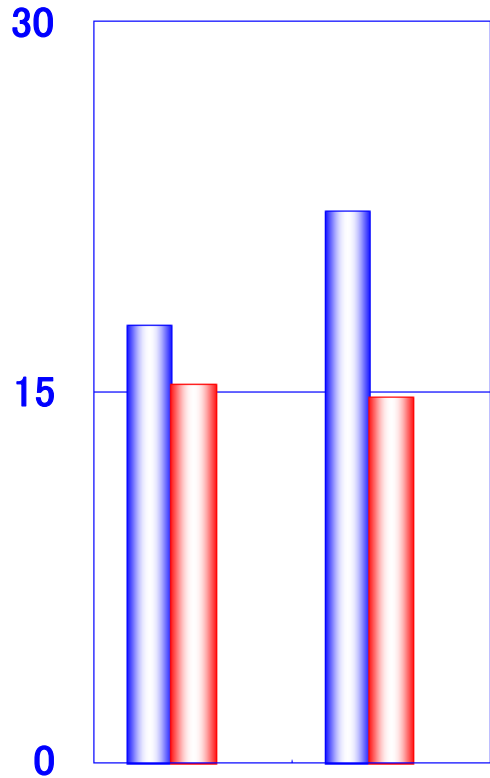


売上高
(億円)

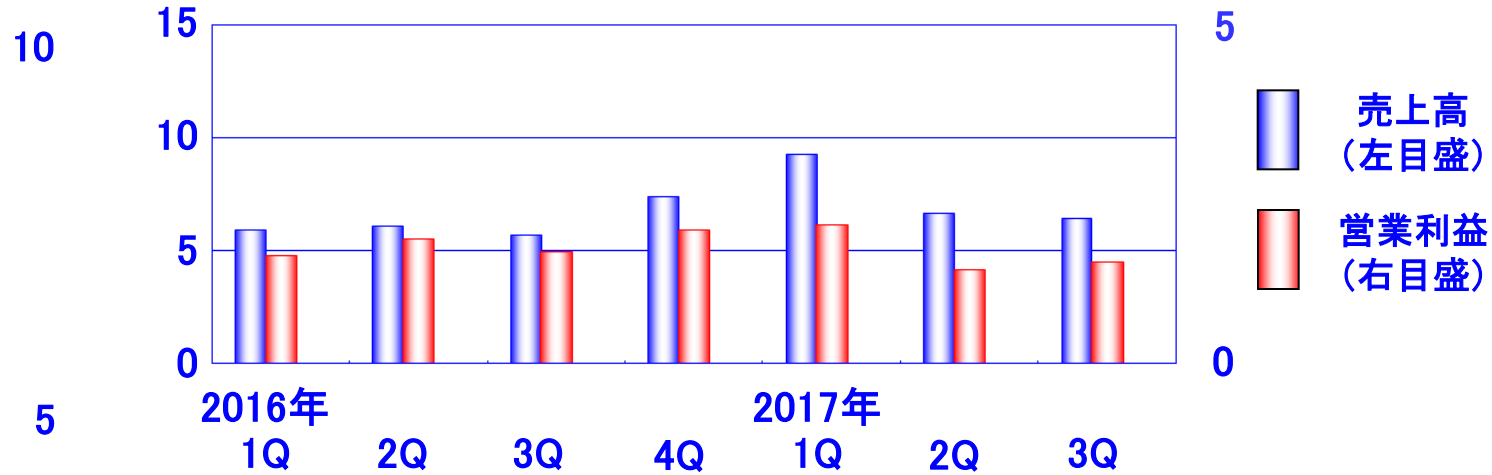
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2016年度 3Q累計 2017年度 3Q累計



物流関連

- ・倉庫業が堅調に推移したことに加え、輸出の取り扱いが好調に推移したこと等により、増収